

第6章 新たな展開を必要とする分野における男女共同参画の推進

1 現状と課題

(1) 防災・災害対策の分野における男女共同参画の推進

近年、各地において、自然災害等の危機事象が多発していることから、地域住民の防災意識は高まっており、災害発生時に迅速かつ的確に対応するためには、住民・地域・行政が一体となって防災に取り組む必要がある。

特に、家庭や地域活動の多くは女性が担っている状況や、災害発生時には女性にその負担が集中するという問題があることなどから、女性の視点も取り入れた災害対応マニュアルをはじめ、男女が共に参画した防災（復興）対策が求められている。

(2) 地域活性化・まちづくり・観光の分野における男女共同参画の推進

都市化の進展などにより、地域コミュニティ機能や人々のモラルの低下が懸念されている。

このような中、地域における人間関係を構築し、住みよい地域をつくるためには、様々な地域活動に地域全体で取り組むことが必要である。また、地域に根ざした自治会、婦人会、老人クラブなどにおいては、活動の中心的役割を担う地域のリーダーの育成や、男女を問わず多くの地域住民が様々な地域活動に積極的に参加できる雰囲気づくりが求められている。

また、今日、観光客の「本物」を求める志向の高まりや、「団体旅行」から「個人旅行」「参加・体験型」「目的型」へと変化した旅行スタイルなど、観光者ニーズには大きな変化が見られる。このような変化への確に対応していくためには、本県ならではの地域資源を最大限に活用した観光地づくりを進めていく必要がある。

特に、これからの観光の主なターゲットは、いわゆる団塊の世代の夫婦や友人同士のグループなど個人の観光客であることから、地域の人々と一緒に「県民総力戦」できめ細かく温かいおもてなしを実践し、訪れた観光客に「また来たい」、「住んでみたい」と思ってもらえるような心の豊かさや癒しを実感できる取組みを推進する必要がある。

(3) 環境の分野における男女共同参画の推進

女性は、環境問題への関心が高く、地球温暖化防止など環境保全のための活動に積極的に参加する人が多く見られるが、このような知識や経験が、必ずしも十分に生かされていない。

また、森林づくりの分野においては、女性ボランティアが育成され、女性による取組みの拡大が図られている。

【「みやざき男女共同参画プラン」指標の進捗状況】

指 標	単位	改定当初		現 況		目標値		進捗率 (%)
		年度	数値	年度	数値	年度	数値	
自主防災組織率	%	H 16 (H17.4.1)	61.6	H 18 (H19.4.1)	57.9	プラン改定当初		87.7
						H 23	68.0	
						平成 19 年度～		
						H 22	66.0	
地域づくり団体数（地域づくりネットワーク協議会加入団体数）	団体	H 17	143	H 19	155	H 23	148	104.7

2 施策の実施状況

(注) 平成19年度当初予算額は6月補正後の額

(1) 防災・災害対策の分野における男女共同参画の推進

事業名	概要	当初予算額(千円)		課(室)名
		平成20年度	平成19年度	
自主防災組織活動強化事業	自主防災組織や自治会組織等の中核となる防災リーダーや防災士の育成を行う。 ○19年度実績 自主防災組織率 57.9% 防災リーダー研修受講者数 170名(うち女性26名) 防災士 15名(うち女性2名)	2,789	2,997	危機管理課
ふるさと消防団パワフル21事業	県消防協会と一体となって女性消防団員の育成を推進する。 ○19年度実績 女性消防団員数 283人(全団員数:15,366人)	400	400	消防保安課

(2) 地域活性化・まちづくり・観光の分野における男女共同参画の推進

事業名	概要	当初予算額(千円)		課(室)名
		平成20年度	平成19年度	
「宮崎県地域づくりネットワーク協議会」への助成	地域づくり団体の自主的・主体的な活動を促進することを目的とした地域づくりネットワーク協議会への助成を行い、情報提供や人材の育成、地域づくり団体間の連携・交流促進を通して地域の活性化を図る。 ○19年度実績 ・地域づくり団体研修交流会の開催 1回 ・団体の実施する研修・交流促進事業に対する助成 21団体	3,800	3,800	総合政策課中山間・地域対策室(旧:地域振興課)

(3) 環境の分野における男女共同参画の推進

事業名	概要	当初予算額(千円)		課(室)名
		平成20年度	平成19年度	
環境保全アドバイザー派遣事業	市町村、民間団体、学校等が開催する講演会、研修会、講習会等に県内在住の環境問題の専門家を講師として無料で派遣する。 ○19年度実績 派遣回数 97回(男性63回、女性34回) ※登録数 91名(男性71名、女性20名) ※平成20年3月末	1,298	1,298	環境森林課
地球温暖化防止活動推進員による温暖化対策推進事業	地球温暖化防止活動推進員が地域において、温暖化防止に関する研修会の開催などの普及・啓発活動を行い、地域、家庭での温暖化防止の推進を図る。 ○19年度実績 推進員 105名(女性99名、男性6名) 研修会等回数 244回(参加者 7,368人)	0	568	環境管理課

3 今後の取組

総務部では、防災・災害対策における男女のニーズの違いに配慮して、男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の整備を進める。

県民政策部では、男女を問わず地域住民の地域づくり活動への参画を推進するとともに、各地域で行われている地域づくり活動についての情報提供や地域づくり団体間の相互連携強化、地域づくりリーダーの育成等に積極的に取り組み、地域の活性化を図っていく。

商工観光労働部では、観光従事者のうち高い割合を占める女性の視点や発想を生かした様々な取組みを進め、ターゲットの主流である女性客をはじめ、多くの観光客の支持を得ることができる観光地づくりを進めていく。

環境森林部では、県民一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルへの転換を図り、地域や家庭において環境保全活動に積極的に取り組む必要があることから、環境保全に関する女性の豊かな知識や経験をより幅広い機会に活用するなど、環境分野における男女の共同参画を推進していく。

